

## 第22回全国銀行大会における総裁挨拶要旨

本日、ここに第22回全国銀行大会が開催されるにあたり、所見を申し述べる機会を得ましたことは、私の深く喜びとするところであります。

### 1. 内外経済情勢と金融政策の基本方針

昨秋、国際収支の悪化に対処して諸般の景気調整措置を実施し、さらに本年初頭には公定歩合の再引上げを行なったのでありますが、幸い、年初来貿易収支の好転を中心に国際収支は急速な改善を示すに至っております。しかし今後については、米国における景気の先行き、国際収支対策の動向、ならびに国際的な経済金融情勢の推移などを考慮しますと、輸出が目下のような好調を維持しうるかどうかはなお確言しがたいように思われます。一方国内経済の拡大テンポは、年初来在庫調整を主因に昨年よりいくぶん鈍化したようにみられますものの、最終需要は依然根強い増勢を継続しており、在庫調整も最近では一眼のまぎしもうかがわれるのでありまして、春以降の商品市況の持直し、生産、出荷の増勢、製品在庫率の低下などの動きをみますと、今後の輸入についてその成行きを注意する必要があるように思われます。

また、海外の金利動向をみますと、米・英両国の金利が非常な高水準にあることも注目を要するところであります。

以上のような諸点にかんがみまして、今後の金

融政策についてはなお従来からの慎重な方針を持続しつつ、国際収支の改善傾向が今後どうなるかを見定めたくうえで態度を決定いたしたいと存するのであります。

次に国際通貨問題について一言いたしますと、米国の増税ならびに歳出削減措置の決定もあって国際的な通貨不安はやや鎮静の感もあり、各国とも国際通貨制度の安定のためにできるかぎりの協力をいたしているのでありますが、先行きにはなお多くの問題があると考えられます。また、過般決定されましたSDRは高く評価されるのでありますが、しかしこれは国際金融の当面するいっさいの問題を解決するような万能薬ではありません。国際流動性の増強と並んで、国際収支赤字国が国内経済の調整を適切に行なうことが必要である点を、この際とくに留意すべきであります。

ドル防衛措置が今後具体的にいかなる形で展開されてゆくかが、当面のわが国経済にとって重要な問題であることは前に触れましたが、さらにやや長い目でみた場合に、ドル防衛がわが国に及ぼす影響についても十分考えておく必要があります。すなわち、米国は、今後経済運営にあたって常時国際収支という問題を重視しなければならなくなっていると思われませんが、このことは、これまで米国の国際収支赤字持続により直接、間接著しい影響を受けてきたわが国にとり、経済発展の

重要な条件の一つが変化することを意味するのであります。今後政策当局はもちろん経済各界も、このような海外環境のきびしさをわが国が乗り越えてゆけるような体制を整えることが肝要であると考えるのであります。

## 2. 金融政策運営上の諸問題

今回の金融引締めは、国債発行下におけるはじめての経験でありましたが、国際経済金融情勢の激動、企業をめぐる資金の流れの変化などの諸事情も加わって、金融政策の運営にはこれまでにみられない配慮を要したのであります。

昨年の本大会におきまして私は、金融、財政両政策の緊密な協調を図ることが、景気政策の円滑な運営上とくに肝要である旨申し述べたのであります。また、財政当局が昨秋以降、景気調整の観点から財政支出の繰延べ、予算規模の膨張抑制、これとらのはらの関係にある国債発行額の圧縮に大きな努力を払われた点については敬意を表する所でございます。ただ財政硬直化の問題がありましたため、実際の運営に際してはなかなかむずかしい点が多かったように見受けられたのであります。今後財政当局におかれては、財政の弾力性の増大にいっそう努力していただきたいのであります。

またご承知のように、昨秋以降公社債流通市場における需給の実勢に対応して、国債を含む各種債券について起債額の調整ならびに起債条件の改訂が行なわれました。その具体的な内容を見ますと、必ずしも理想どおりとはいいがたいのであります。また、ともかくもかかる先例が樹立されたことは、健全な公社債市場発達への第一歩として評価

されるとともに、金利政策を中心とする金融政策の円滑な遂行を図るうえにおいて重要な意義を有するものと考えるのであります。ただいま申し述べた金融、財政両政策の協調ということも、実際にはこのような公社債市場の機能を通じてはじめて円滑に実現されうるものであります。この点は、昨年私が本席上で強調したところであります。今後かかる市場機能をいっそう発揮させるよう努力してまいりたいと考えております。

今次の金融引締めに際しても、従来と同様金利政策、債券売買操作、銀行等に対するいわゆる窓口規制などを実施してきたのであります。企業の内部資金の状況、規制対象外金融機関の貸出動向などには、前回引締め時とはやや異なった動きがうかがわれるようであります。かかる諸点にかんがみ、今後金融政策の効果をいっそう高めるため、各種金融政策手段のあり方について検討を加えてゆきたいと考えております。

わが国の国際経済との関係が近年緊密化するに伴い、内外金利関係等の変動によって惹起される外資の流出入が、国際収支に及ぼす影響の度合いはしだいに増大するに至っております。この点については、すでに一昨年金融緩和期において経験したところであります。今後国内における金融政策の運営に際しては、海外金利の動向を無視できなくなっていることに注意しなければならぬと思うのであります。

## 3. 銀行に対する要望

以上申し述べたように、現下の内外経済金融情勢にかんがみ、当面引締め政策を持続せざるをえない状態にあります。銀行においても引き続き

き慎重な態度で融資に当たられるようお願いしたいのであります。また、今後中小企業を含めすべての取引先企業の動向を従来にもまして十分に把握し、企業が内外経済環境の絶えざる変化に十分に適応できるよう適切な助言をしていただきたいと思います。

次に、やや長い目でみた場合の今後の銀行経営のあり方について一言申し述べたいと存じます。

まず、銀行は地道な経営の合理化によるコストの引下げに常時努力することが肝要であると考えられるのでありまして、業容拡大にのみとらわれることなく、いっそう経営内容の質的向上に努めていただきたいと思いますのであります。また、銀行は資金ポジションの改善に不断の努力を傾けるよう要望いたしたいのであります。これは金融機関経営のかなめであり、また金融政策が円滑に運営されるための前提条件の一つでもあります。本行が今回の引締め政策運営にあたり、各銀行の資金ポジションを重視しておりますのも、かかる趣旨に基づくものであります。

以上の点は申し上げるまでもなく銀行経営上当然のことであり、昨年も指摘したところでありますが、きわめて重要なことからありますので重ねて申し上げたいのであります。

昨今資本の自由化に対処し、国際競争力の強化を図るために、産業界はきびしい合理化努力を迫られております。こうした情勢の下では金融界も例外ではありえないのでありまして、新しい時代の要請に自己を適応させることが最大の関心事で

なければならぬと思うのであります。さきに成立しましたいわゆる合併転換法も、金融機関の経営の効率化に資することを目的とするものでありまして、銀行も、この趣旨に沿って前向きに広く国民経済的要請に応じうる体制を整えることが肝要であると考えられるのであります。

私は昨年、個人貯蓄の増強が、わが国経済の発展をささえるうえにおいて引き続き緊要な課題である旨申し述べたのであります。この一年間を顧みますと、貯蓄は比較的順調な増勢をたどってきたように思われるのであります。しかし個人の消費生活の合理化、貯蓄心のかん養といった点では、なお改善を要する面が多々残されているのでありまして、銀行においては、かかる意味における個人貯蓄の増強のため一段とご努力をお願いしたいのであります。

### む す び

以上、私は内外経済情勢に対する所見、今後における金融政策運営の基本方針ならびに金融界のあり方について申し述べたつもりであります。さきほど会長のお話にもありましたように、円価値の維持に全力を傾け、経済の安定成長の基礎を固めることが現在最も重要なことからありますので、私はこの未曾有の国際経済の激動期に際し、金融界をはじめ経済各界のご協力を得て、その達成に努力してまいりたいと衷心からお願いいたしているしだいのであります。これをもちまして私のご挨拶を終わります。

(昭和43年7月11日)